

論文の内容の要旨

論文題目 The Notion of Historic Urban Landscape and its Application to Visual Impact Assessment of Historic Town, Case of Old Bangkok

歴史的都市景観の概念とその景観影響評価への適用に関する研究
—バンコク古都を事例として

氏名 シリスリサク ティアムスン

文化遺産保護は都市の未来と地元住民の生活の質の向上に貢献すると認識されてきた。都市遺産は、住民としての誇り、経済効果、ひいてはそれが都市の持続可能な競争力へとつながると言えると考えられる。しかし、残念ながら世界中の多くの歴史的都市地区は様々な問題を抱えている。それらの問題は時代と共に変化するが、その中でも近年懸念されているのが、ロンドン、ウィーン、サンクトペテルブルグ、ケルン等の世界遺産の町における高層建造物の景観影響に関してである。

この様な事から世界遺産センターは2003年より歴史的都市景観の概念を構築しようというイニシアティブをとってきた。最初の国際会議は2005年に開催され2006年には国際的な論議が始まった。歴史的都市景観の定義は現時点では未だ論議が続いており国際的な論議の場では、欧州の都市の事例に基づいた内容が多くをしめており、アジアの都市での事例に関してはあまり言及されていない。さらに、この概念は世界遺産の町のみならず歴史都市全般に適用されることを目的としている。現在までの会議の目的と議論を通して考察されるのは、まずこの概念の核をなすものは場の‘sense of place’を保護するということ、そしてビジュアル・インテグリティが歴史都市景観にとって最も重要な要素の一つであるということである。

近年アジアの都市は、物理的にも社会的にも大きく変化を遂げ続けている。主要都市における人口の増加とグローバリゼーションの波は高層建造物をもたらし、シンボリックな建造物は都市のアイデンティティを再創造するために使われてきている。これらの現象は歴史的都市の価値に影響を及ぼす可能性もある。アジア独特の歴史的都市はその特徴を保つ為にその景観影響に対応する為のツールが必要とされるものと考察される。

これらの考察を鑑み、本論文は歴史的都市における重要な景観の識別と景観影響評価のツールを構築する事を目的とする。本研究は文献調査と古都バンコクの現地調査をもとに行われた。文献調査は歴史的都市景観の概念の構築準備段階に付随する文献、国際会議、欧州でのケース、ビジュアル・インテグリティとそれに関する論議、議事録の分析と考察から始まる。これらには、世界遺産条約、文化的景観、欧州景観条約も含まれる。

続く章は景観影響評価のツール構築の為にアジアの都市における現状、課題、歴史的都市の特徴の考察を行った。これらからアジアの歴史的都市区域にはより包括的に遺産を考慮していく必要があるということがわかった。よって、歴史的景観の概念とその適用はアジアの歴史的都市区域保護の為に不可欠であるということができよう。

構築された歴史的都市における重要な景観の識別と景観影響評価のツールは古都バンコクをケースとしてその分析と考察が進められた。重要な景観とは、その場のイメージ又は‘spirit of place’を映し出し、それはその場がどの様に認識されてきたかに反映される。調査の結果、重要な景観はその場の歴史とビジュアル・インテグリティとが深く関係するということがわかった。そこから、重要な景観の識別には以下の4つの段階から構成されていると言える：1) 歴史の再考察、2) 重要な景観の候補の選定、3) ビジュアル・インテグリティの分析、4) 重要な景観の識別。さらに、重要な景観は5つのタイプに分けることができると言える：1) パノラマ景観、2) スカイライン又は夜景、3) 建造物が主体、4) (主要な) オープンスペース、5) ストリートスケープ。

景観影響とは新たな開発によってもたらされた、特徴ある景観への変化を指す。しかし、これは全ての歴史都市において高層建造物が必ずしもネガティブな影響を及ぼすというものではない。むしろ良い影響をもたらす事もある。つまり、その歴史都市のコンテキストをまず理解する事が必要であると共にその他の要因も検討しなければならない。それには、都市の経済的要因や地元住民の生活の質も考慮に入れる必要がある。そこで、以下の3つの点はその都市にとってどうであるかが高層建造物の建築申請時に考慮されるべき点といえるだろう：1) 景観の価値、2) 景観影響の度合い、3) 高層建造物が貢献する内容。最後に、環境影響評価以外に、決定段階における、透明性、アカウントビリティ（説明責任）が対立解消にとって重要であるといえる。さらに評価過程における利害関係各者（ステークホルダー）参加と公開諮問は重要な要素であると言える。